

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
教育実習事前・事後指導	1・2	1年後期 2年前期	演習	1	笠野恵子、大迫千佳子
○授業の到達目標及びテーマ					
・ 幼稚園教育実習の意義を理解する。					
・ 幼稚園教育実習に向けての目標を自ら設定できる。					
・ 幼稚園教育実習で求められる保育の実践力を身につける。					
・ 実習日誌や観察記録を記すとともに、指導案を作成し、これに基づいた保育実践を行う力を身につける。					
○授業の概要					
幼稚園教育実習の意義と目的、その内容と方法について理解を深める。実習は学校での学びを基本とした保育実践現場での体験学習であることを理解した上で、実習生としての心構え・保育教材の準備・指導計画の作成・実習記録の記入方法などについて具体的に学ぶ。実習終了後は事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い課題や認識を明確にする。					
○授業計画					
回数	授 業 内 容				
1	教育職員免許法に基づく教育実習の位置づけと今後の授業計画について理解する。				
2	実習生としてふさわしい身だしなみや言葉遣いなどについて確認するとともに、守秘義務の遵守、子どもの人権の尊重など基本的な実習心得を習得する。				
3	幼稚園の実態、教育方針、幼児の実態、一日の流れなど実習園について理解する。				
4	教育実習における課題を明確にし、課題を実現させていく具体的方法を考える。				
5	指導計画の意義を確認し、教育実習における指導実習の計画案を立案する。				
6	指導案に沿って、実際に模擬保育を行い、指導計画が適切なものであるかどうか考察する。				
7	前回の模擬保育について反省・考察し、より良い計画と実践について考える。				
8	教育実習記録の意義と目的を理解し、その記入方法について理解する。				
9	教育実習の意義と理解を深め、疑問点など話し合う。				
10	実習の具体的内容、課題の達成状況等を省察し、改善に向けての具体的な方法を検討する。				
11	自己の実習の問題点と実習園からの評価を比較検討し、客観的に実習を振り返る。				
12	実習評価を整理し、教育実習に関しての改善点を論理的、科学的に行う。				
13	今後の教育現場における教師の役割と求められる資質について考える。				
14	家庭や地域社会と連携を図るための教育現場について検討する。				
15	子どもにとっての最善の利益に結びつく保育者としての資質と課題について理解を深める。				
○テキスト					
「実習の記録と指導案」ひかりのくに 「実習日誌の書き方」 萌文書林					
○参考書・参考資料等					
「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館					
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館					
○学生に対する評価					
定期試験（60％）授業態度（10％）レポート（10％）提出物（20％）などにより総合的に評価する。					